



# 念じられ 照らされて

## ふるさとの訛りなつかし

小丸洋子



＜略歴＞  
1960年、福島県浪江町生まれ。真宗大谷派仙台教区正西寺坊守。教区教化委員。同朋会館教導。

昨年『最愛』というドラマが話題になりました。

ヒロインは白川郷の出身で、故郷や東京で様々な困難に遭遇します。そんな中、彼女がふるさとの家族や懐かしい友人と話すときの飛騨弁がやさしく温かいのです。聞きながら、ふるさとというのは「言葉」でもあるのだなあと思いました。

十一年前の東日本大震災と原発事故。爆発する原発の映像を見たときは、「火宅無常の世界は、よろずのこと、みなもって、そらごとたわごと、まことあることなきに」という『歎異抄』の一節が脳裏をよぎりました。やがて寺のあるふるさ

との浪江町は全町避難となりました。

「ばあちゃん、元気がいい?」「漬け物こさえたから、お茶飲んでって」「今日はカツオのいいのが入ったよ」「んでは、今夜は刺身にすっぺがなあ」。避難先で多くの人がこうした言葉を失い、仮設住宅に閉じこもるようになっていきました。

震災後のストレスなどから起こる災害関連死が福島に突出して多いのは、こうした「ふるさと」を失ったからだとも言われています。

竹林や木々に囲まれていたのですが、それが放射能を受け止めてしまったのです。もう無理だ、帰れないと思いました。

しかし、まだ除染も終わっていないにもかかわらず、お参りに来る門徒さんがおられたり、もう一度お寺で報恩講を勤めたいという門徒さん方に背中を押され、土を入れ替え、竹林や木々を切り倒すなどの除染を何度も何度も繰り返し、何とか放射線量を下げることができました。

浪江町は風で流れた放射能の通り道になり、私の寺にも多くの放射能が降りかかりました。寺は

一時は廃墟のようになつた浪江町も、除染の甲斐あつて様々な施設ができ新たに起業する若い人々が来て、少しずつ人が戻ってくるようになりました。ようやくできたスーパード知り合いに会った時、私は失っていた日常の言葉が戻ってくるのを感じました。

ここまで来るには、実に多くの方々の支えがありました。岐阜からも、被災地に真宗大谷派の多くのボランティアの方が来て下さり、また私自身にも震災直後から食料や日用品を送っていたとき、長きにわたって励ましの声をかけ続けてくれた飛騨の坊守さん方がおられました。

いろいろなものが変わっていく中で私自身は何ができるのか、帰ることへの不安は多々ありますが、原発事故で傷ついた多くのものを抱えながら、寺がここで果たすことのできる役割は何なのかを模索する日々です。

までになりました。

## 春の彼岸会・永代経法要

亡き方をご縁として仏法に出会う大切な仏事です。ぜひお参りください。

3月18日(金)～24日(木)

午後1時から勤行・法話

18日(金) 北條 良樹氏 「現生不退 宗祖のころ」  
(了泉寺前住職)

19日(土) 光本 智見氏 「四諦」  
(南春寺住職)

20日(日) 前田 法俊氏 「寺族として生まれて」  
(法蓮寺住職)

21日(月) 三島 多間 蓮如忌併修  
(別院輪番) 「正覚大音響流十方」

22日(火) 帰雲 真智氏 「人と生まれて…」  
(還來寺住職)

23日(水) 小原 宗成氏 「生きる力」  
(圓龍寺住職)

24日(木) 窪田 哲氏 「今昔物語」  
(圓徳寺前住職)

## 第40回 真宗公開講座 日程変更のご案内

コロナ感染拡大を鑑み、下記の通り講座の予定をお知らせいたします。なお、状況次第で再度変更される場合もございます。なにとぞご了承くださいませようお願いします。

第2回講座 講師：安藤 弥氏 (同朋大学教授)  
3月7日 (月) → 中止

第3回講座 講師：和田英昭氏 (郡上市照明寺住職)  
4月5日 (火) 午後2時～  
講題：「逃げれば暗い  
引き受ければ明るい」  
会場：高山別院 参加費：500円

## 聖教学習会

講師 マイケル・コンウェイ氏 (大谷大学准教授)

日時 第2回 3月8日 (火) 13時30分～16時  
第3回 3月15日 (火)

テーマ 『安楽集』に学ぶ

会場 別院2階 研修室、自宅等 参加費 500円

※現在、オンラインでの聴講を推奨しております。

パソコン・スマートフォンをお持ちの方は、右のQRコードまたは、飛騨御坊ホームページからお申し込みください。



## 大学などの新生がいるご家庭へ

親元を離れて新しい学生生活が始まるこの時期、新生を狙ったカルト宗教の勧誘にご注意ください。



カルト問題の詳細についてはこちら



仏教×グリーフケア 19

尾角 光美

キサーゴータミーのお話

仏教とグリーフケアというテーマでは、よくお坊さんたちが法話などで引用されているお釈迦さま

の説話があります。子を亡くしたキサーゴータミーという女性の話です。

貧しい家の生まれだった彼女は、親、兄弟、一族、皆亡くして、夫と結婚して子どもを授かるも、妊娠中にその夫も亡くなり、生まれた子も、幼くして亡くします。「どうして私だけがこのような目に合わなければならぬのか？」と嘆き悲しみ、「どうかこの子を生き返らせる薬を下さい」と村中を訪ね歩きます。そこからお釈迦さまに出会い、今まで

死者を出したことの無い家からケシの実をもらってきたら薬をつくってもらえるということになりました。でも、どの家にもケシの実はありません。死は誰の身にも訪れるものと知り、お釈迦さまの弟子として出家したというお話でした。

このお話はお子さんを亡くされた親御さんが、葬儀の場で耳にされることが多いそうです。とりわけ東日本大震災のときにも、このお話がよく伝えられていたそうです。

すが、ご遺族の方々は法話を聞き、傷ついています。「無常だから、受け容れましょう」「悲しみを乗り越えましょう」と言われているような気持ちになる。「悲しみがなくなるなんてことはありえない。それは私にとつて今も子を愛しているという愛情の形が涙だった。悲しみだつたりする。だから、この話をされて、無常だ

から、あきらめなさいといわれることには納得がいかないのだ。もし、みなさんが、キサーゴータミーのように、よちよち歩きはじめたばかりの幼子を亡くし、そのときに「キサーゴータミーは子を亡くしたことを縁に仏法に出会い、よろこびをもって自分の人生を生き直すことができました」と言われたらどのような感じがするでしょうか。

精一杯、ご遺族に「寄り添う」気持ちで、この話はされているかもしませんが、まずは今、その目の前にいる方が、何を感じているのか、向き合うことからはじめなければ、このお話が本当に求められているかもわかりません。お釈迦さまは説教をするのではなく、まず問いかけ、大切な人を亡くした人たちと関わり合う「方便」を用いました。方便の原語(サンスクリット語)の upaya は「近づく」という語源の意味を持っています。

す。お釈迦さまは相手に合わせた方便を用いることで、そのキサーゴータミーの心に近づくことができましたのかもしれない。さらに幾千の苦しみを受けた。さらに幾千の苦しみの生涯にわたって、そなたは涙を流した」と晩年に自身を回顧するキサーゴータミーが見られます。悲しみを「乗り越えた」のではなく、一生悲しみを抱き続けたのではないのでしょうか。悲しみを抱くことと、仏道を歩む中に安らぎを得ていくことは矛盾しないのだらうと思います。悲しみを抱えながらも生きていく道を探れるのが、仏教のもつグリーフケアの力なのではないでしょうか。



『ごほうチャンネル!』 仏典童話 「けの種」より

次号の『ひだご坊』発行は5月1日となります。

別院定例法座

午後1時から

3日 三日のご坊

3月 嘉念坊善俊上人ご命日法要 コロナ感染拡大防止のため、総会及び講演は中止となります。お勤めへの一般参詣はできますので、どうぞお参りください。

4月 講師 櫻居 和彦氏 (西光寺住職) 講題 「佛様の御催し」

28日 親鸞聖人ご命日法座

3月 講師 三島 大遵氏 (真蓮寺住職) 講題 「私のほんとうの願いは何だ!？」

4月 講師 澤邊 恵亮氏 (誓願寺住職) 講題 「佛慧功徳をほめしめて」

ひだご坊

一口法話

URL: https://hidagobo.jp/sermon/

3月1日から4月30日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- 旭野 康弘氏 (永養寺住職)
江馬 雅臣氏 (賢誓寺副住職)
三島 多聞 (別院輪番)
岩佐 幾代氏 (浄永寺坊守)
四衢 亮氏 (不遠寺住職)
春國 文春氏 (玄興寺住職)
佐藤 義晃氏 (了徳寺住職)

大谷婦人会 定例法座

3月11日(金)
4月11日(月)

講師 三島多聞 別院輪番
いずれも午後1時から

予告!! 春のお彼岸に墓石展示会を開催します

納得価格でご奉仕します。ぜひご来店ください。詳しくは新聞折り込みチラシで

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 各種石工事

ご相談・お見積り無料!!

株式会社 奥田石材 OKUDA

0577-33-9601 高山市新宮町2498-1(新宮小学校前)

温度差でおこる 怖いヒートショック

寒いタイル貼の浴室をそのまま断熱リフォーム 暖かいお風呂で快適入浴

早くて安い【ユニットバスの半額程度】

今なら高山市のバリアフリー補助金が使えます。申請のお手伝いもします。(65歳以上の方がいる世帯、上限50万円は今年まで)

60件以上の実績(手すりも付けます) 『暖かくなった』と喜ばれています

お見積り無料 まずはお電話下さい TEL 32-2577

高山市七日町3-102 (株)小林ベニヤ リフォーム部

慈愛・共なる灯り

高山電気工事株式会社



保険タイム

〒506-0059 高山市下林町916-1 ※ひだしん西高校前支店となり TEL 0577-35-1005

お墓の修繕

雪や凍結などで、お墓のスレ傾きなどキレイに修復します。

高山墓石店

090-7677-4883 〒506-0814 高山市滝町1362

山都印刷株式会社

高山市西之一色町二丁目九〇一八 TEL 〇五七七一四九五

ブックス・アイオー 愛着あるガラスクマは人生の宝物である。『捨てない生きかた』 五木寛之 著

お仏壇 仏壇工芸 ほりお 高山市三福寺町369-7 TEL 0577-33-6686

春のお彼岸セール 念珠フェア 3/21(月)まで



ココから、チラシをご覧いただけます

久寿玉 KUSUDAMA 平瀬酒造店 TEL 34-0010

ドローンを使ってもっと便利に 農業ドローン色解析(いろは)認定ドローンオペレーター